

今月の御教え

女は世界の田地である。世界の田地を肥やししておかねば貴いものが出
来ぬ。女は家の家老じゃ。家老がようなければ城がもてぬというが、
女がようなければ家がもてぬ。

……金光教祖御理解 第八十六節……

解説

この御教えには、教祖金光大神様の人間観が大変良く顕れております。

「女は家の家老じゃ……」と表現されておりますが、皆様もよくご存じのように「家老」という役職は、その時代その領国において、殿様より、政治、経済を始め全権を委任されている最高の実力者でありました。

女性は地位、能力において男性より低いものとされ、何事も男性に従うのが当然とされていた時代、尚且つ現代においてさえ、昭和二十年の敗戦により新たな「日本国憲法」が制定されるまでは、基本的人権であります「参政権」すら認められていなかった女性に対して、その当時、このような「女は家の家老じゃ……」との表現は、全く異例のことでありました。

正に「人は皆、神の氏子」であり、神の前にはすべてからく平等である」との天地の親神様、教祖金光大神様の確固たる思し召しが如実に伺われる尊い御教えであります。

今年、当西条教会設立百十年、川之江教会・高橋大明神百十年、四代教主・金光鑑太郎君二十五年度の栄えある御年柄、共に信心向上の御蔭を頂きましょう。